

WESTUNION
WEST UNION
第429号
2025年2月21日

J R よなご
西労組
west japan railway trade union - YONAGO

西日本旅客鉄道労働組合
米子地方本部
発行責任者 大川 達也
編集責任者 平新 直大

米子地本の組合員の想いを中央へ届ける



新たな歴史を創れ！中央闘争委員会！！

25春闘の活動方針を決定

米子地方本部は、2月18日(火)に米子コンベンションセンターにおいて、第34回地方委員会を開催した。

まず上倉副委員長の開会挨拶によって始まり、委員会議長に西上一哉委員(石見支部)を選出した。冒頭、大川委員長より「安全の確立」「組織の充実・強化」「25春闘」「地本費」「政治」について挨拶が行われた。

来賓には、亀井亜紀子衆議院議員の代理として、桑本秘書より、激励のメッセージをいただき、同時に、立憲民主党鳥取県連代表である湯原俊二氏、組織内議員である中田利幸米子市議より、それぞれ挨拶を頂戴しました。

また、中央本部より上村執行委員長、福本部長に出席いただき、上村委員長より、安全をはじめ、春闘の要求内容や交渉状況についてご挨拶をいただきました。

定期大会以降の活動経過を高真副委員長より報告し、当面の活動方針案を亀山書記長が提起した。方針案に対し、10名の委員より約21項目について質疑を受けたのち、執行部ならびに中央本部より答弁を行いました。委員会宣言案を久保田青年女性委員長が読み上げ、すべての議案に対し、満場一致で承認を確認した。

10名の委員が力強く発言する



濱村 祐介 (米子運輸所分会)
□エリア手当、通勤手当、住宅補給金の改善について
□失われた1.19箇月に対する考え方
□ワンマン特急に対する教育のあり方とドア誤扱い防止装置の整備について



砂川 仁志 (倉吉駅連区分会)
□智頭急行内でのジバング手帳の発券が出来ない理由について
□遠隔改札の資料が現場に準備されていないため、早急に手配を求め
□精励手当について交渉しない理由を教えてください



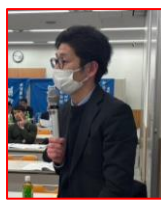
宮崎 琢己 (米子総合指令所分会)
□妥結内容の表記を平均賃上げ額ではなく、ベア〇〇、年間臨給〇〇と例年のようにしていただきたい
□パスカルの一部区間販売終了に伴い、これまでのように特急通勤が出来なくなる組合員がいる。柔軟な対応を会社に求めて欲しい



井田 憲太郎 (米子支部)
□各現場における要員不足の解消について
□一律ベアに拘った春闘交渉の展開を求める
□組合活動が一部の役員に偏っている。



熊野林 吉生 (米子保線区分会)
□作業責任者手当の支給対象者拡大
□社会人採用の1年目の要員化について
□平均賃金総額での表し方について
□シニア社員の扶養手当、エリア手当の新設について



小田川 慎一郎 (運輸部会)
□地方部会の組織のあり方について、現状の考え方や今後のイメージを教えてください



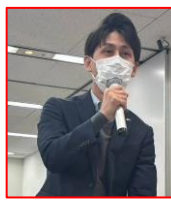
手島 雄太 (支社分会)
□除雪対応について、中統の支援もあり対応しているが、夜間帯や連日の対応など、業務内容はきつい。報いる形での手当の新設など対応をお願いする



森賢太郎 (後藤総合 車両所分会)
□業務区分の見直しにより、車両系統は間接業務にあたる組合員が多くなっている。幅広い対象となる手当に改善を行っていただきたい



細羽 晴彦 (鳥取列車分会)
□パスカルでの通勤が3月からできなくなるが、対象となる組合員に説明がない。柔軟に特急通勤ができるよう、対応をお願いする



高橋 大介 (出雲支部)
□要員問題は各職場から課題として聞いている。所要員より現在員が少ない場合は、手当を新設するなど検討いただきたい
□鉄道は価格転嫁が難しいとあるが、西労組で支援した亀井衆議院議員などを通じて、政策を提言いただきたい

各支部春闘総決起集会(予定)
各エリアで機運を醸成させよう！！

- 鳥取支部・・・さざんか会館
2025年2月28日(金) 18:30～
- 米子支部・・・コンベンションセンター
2025年3月1日(土)13:30～
- 出雲支部・・・出雲保線区会議室
2025年3月3日(月)18:15～
- 石見支部・・・石央文化ホール
2025年3月4日(火)